

STE (Shiroi Teaching Expert) の授業紹介 No. 2



白井市立大山口中学校 本宮 智枝 先生 (保健体育)

9月28日(火)、2年生女子の保健体育「ソフトボール」の授業展開でした。「攻め方を工夫して得点する楽しさを味わおう」というめあてで、少しでも前の塁に進むルールของเกมで、得点する楽しさを大いに味わえる授業でした。

また、しっかりと間隔を開けての整列、授業の始めと終わりの健康観察、水分補給の声かけ、活動後の手洗い、体調を考えた動きの軽重等、普段から生徒の体を大切にしているのが伝わりました。

工夫1 外の活動で、めあてを示すには

グラウンドで学習のめあてやゲームのルールを示す時、小黒板を持ち出すことは大変です。本宮先生は、スケッチブックを活用していました。手軽に作成できる上に、作成したものを貼っていけば、次年度に活用することもできます。



攻め方を工夫して
得点する楽しさを
味わおう。

工夫2 技能の差を感じさせないために

技能の差を感じさせないために、ピッチャーはローテーション(特例あり)、三振と四球なし、打ちやすい大きさのボール(守備側としてはグローブが要らない大きさ)、1塁に行ければ1点、2塁は2点、一周回ると4点! 次の塁のアウトゾーンにボールが返ってこないうちはどんどんと先へ進めるルール、打者一巡で交代など、不慣れでも得点を獲得するチャンスがたくさんあるゲームで楽しさを十分味わっていました。



工夫3 全員参加!(見学者にも学びの場を)

自分が参加している充実感があるからこそ、次にどうしたらよいのかを一人一人がしっかりと考えていました。授業の振り返りでは「どこまで行けそうかボールをよく見て走る。」「ベンチからも教える。」「打つ方向をコントロールできるようにしたい。」などの意見が出て、新たな課題につながっていました。見学者にも、できる役割を与えたり、最後に友達の動きで良かったところを発表する時間を設けたりして、参加している意識を高めているとのことでした。

★本宮先生が大切にしていること★

- 全員参加!
- 仲間と積極的に関わり、主体的に学ぶ姿勢を育む。そのために、何を見ればよいのか明確に示し、アドバイスしやすくする。また、関わる場面を増やす。
- 安全に活動するための方法や意識しておきたいことを理解させる。どういう時にけがをするのかを理解し、補助運動ができるように支援している。